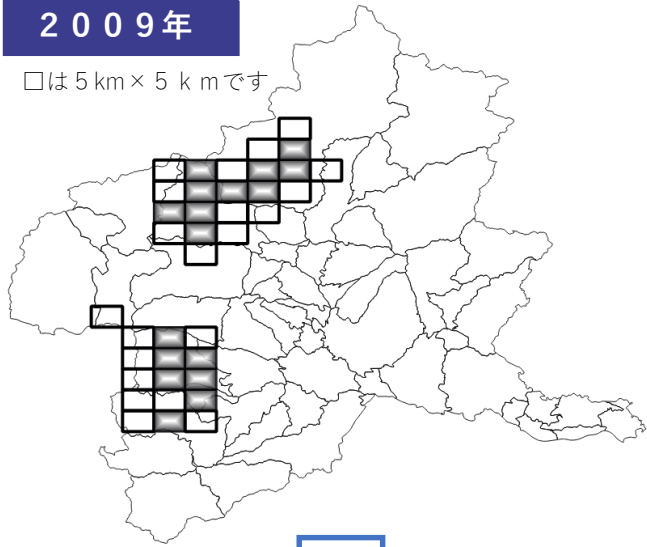


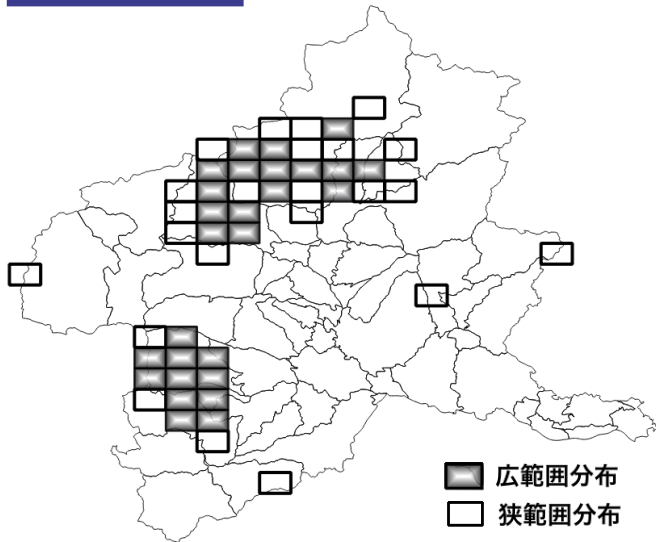
2009年

□は5km×5kmです



2016年

1.3倍



- 2009年と2016年に生息分布を比較
- 7年間で1.3倍に生息域が拡大
- 主な原因はニホンジカなど大型野生動物のすみかが広がったことによるもの
- 県西部、県北部に広がる2つの大きな分布がある

## ヤマビルの特徴

- 落ち葉の下などに生息する
- 陸生の生物で動物や人の血液を吸う
- 春～秋の暖かい季節に活発に活動する
- 人や動物の気配に反応し素早く取りつく
- シカなど野生動物の行動に伴い拡散する
- 吸血しないで1年以上生きていられる

## 吸血されたら

- 吸血されても痛みはないが、かゆみが残る
- 発見したら早めに除去する
- 除去したヤマビルは確実に殺す  
(ディート30%入り虫除けスプレーで死にます)
- 吸血痕から出血、カットバンで止血する
- お風呂に入ると再び出血することもある
- 吸い痕が痒いときはかゆみ止めを塗る

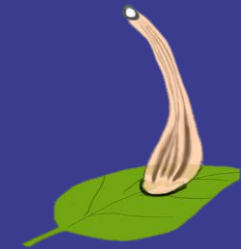
## 家に入る前にチェック！

- 気がつかず家まで持ち帰ってしまう
- 体の隅々まで付着していないか確認し除去した個体は確実に殺す  
(ヤマビルをハサミで切ることも有効)



「ヤマビルの分布と特性分析」研究成果物

# これで安心 ヤマビル対策



群馬県内のヤマビル分布の変遷

人での対策・庭などでの対策

群馬県林業試験場  
発行 2019.2